

日本生物学的精神医学会

会 員 通 信 第 52 号

目 次

1. 日本生物学的精神医学会理事会議事録

倉知正佳 (理事長)

日本生物学的精神医学会理事会議事録

日 時：2008年2月2日(土) 15:00～18:00

場 所：大手町サンスカイルーム「D会議室」

出席者：12名

倉知正佳 (理事長), 加藤忠史, 神庭重信,
齋藤利和, 曾良一郎, 中村純, 野村総一郎,
前田潔, 本橋伸高, 米田博 (以上理事),
林拓二 (監事),
尾崎紀夫 (WFSBP Secretary-Treasurer)

欠席者：7名

大森哲郎, 加藤進昌, 小山司, 西川徹,
丹羽真一, 平安良雄 (以上理事),
大久保善朗 (監事)

(順不同, 敬称略)

議 題：

1. 前回(2007/7/12)理事会議事録承認について
2. 理事長報告
3. 第29回年会決算報告(小山理事)
4. WFSBP報告(尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer)
5. 各委員会報告
 - 1) 総務委員会(大森理事, 小山理事)
 - 2) 国際交流委員会(神庭理事, 齋藤理事)
 - 3) 編集委員会(野村理事, 中村理事, 曾良理事)
 - 4) 財務委員会(前田理事, 米田理事)
 - 5) 倫理委員会(丹羽理事, 本橋理事)
 - 6) 将来計画委員会(加藤(進)理事, 平安理事)
6. 学術賞・国際学会発表奨励賞の件(西川理事, 加藤(忠)理事)
7. プレインバンク・ワーキンググループについて(丹羽理事)

8. 第30回年会と2nd WFSBP Asia-Pacific Congress(倉知会長)

9. 第31回年会について(林次期会長)

10. 第32回年会(2010年)会長について(倉知理事長)

11. その他

1. 前回理事会(2007/7/12)議事録承認について
議事録(案)が配布された。後日, 訂正箇所があればご指摘いただくこととした。

2. 理事長報告(倉知理事長)

倉知理事長より挨拶があり, 議題が確認された。
また, 現評議員に任期継続についてアンケート
を実施したところ, 5名から再任辞退の申し出が
あったことが報告された。

検討の結果, 融道男元理事長, 佐藤光源前理事
長について会則第3章第7条に従い名誉会員に推
戴することが提議され, 承認された。総務委員会
において必要書類を準備し, 次回理事会・評議員
会にて正式に推戴することとなった。

3. 第29回年会決算報告(倉知理事長)

小山理事欠席により倉知理事長より, 第29回
年会について, 参加者1,019名, 演題341題とな
るなど, 盛会のうちに終了したことが報告された。
また, 収支決算書について説明され, 適切に処理
されていることが確認された。

4. WFSBP報告(尾崎 WFSBP Secretary-Treasurer)

事務局業務などが正常化しつつあり緊急の議題
が少ないため会議開催が減少しているが, 次週に
テレカンファレンスにてEC会議が開催される予
定であることなどが報告された。

また、9th World Congress of Biological Psychiatry について報告された。

会期：2009年6月28日～7月2日

会場：Palais Des Congres De Paris (フランス・パリ)

会長：Prof. Siefried Kasper

5. 各委員会報告

(1) 総務委員会 (倉知理事長)

大森理事欠席により倉知理事長より、法人化の件について提議され、種々の議論があり継続審議とされ、次回理事会にて再度審議し決定することとなった。

(2) 国際交流委員会 (神庭理事)

神庭理事より日韓学術交流事業について報告された。本学会と韓国生物学的精神医学会 (KSBP) がそれぞれの年次総会の際に相互に若手研究者 (40歳未満、毎年3名づつ、運営は国際交流委員会) を招聘することとなったことが説明された。また第1回として昨年11月のKSBP年次総会に2名の本学会会員 (1名は留学中のため辞退) が招聘されたことが報告された。第1回目は準備期間がなく、昨年度の学術賞および国際学会発表奨励賞受賞者を推薦したが、次回からは公募されることとなった。

(3) 編集委員会 (野村理事)

1) 「脳と精神の医学」刊行状況の報告

第18巻4号から19巻3号の刊行状況について報告された。

2) 編集ワーキング・グループの設置 (曾良理事)

編集に関わる若手の人材育成のために、若手研究者5名によりワーキング・グループを組織し、昨年9月21日 (東京) に今後の機関誌の在り方などについて検討したことが報告された。

表紙のデザインや、企画、電子ジャーナル化などについて検討され、継続することとなった。

3) ホームページの更新 (中村理事)

更なるホームページの活性化が望まれた。

(4) 財務委員会 (前田理事)

前田委員長より2007年度仮決算が提示され、まだ未確定の部分があるが概ね適切に運営されていることが確認された。最終的な決算書は次回理事会にて報告される。

(5) 倫理委員会 (本橋理事)

丹羽理事欠席のため、本橋理事より報告があった。症例報告の際の倫理規定を策定することについて、外科系学会が連名で提出している規定などを参考に作成する予定であることが報告された。

(6) 将来計画委員会 (倉知理事長)

加藤 (進) 理事欠席により、倉知理事長より年次総会の合同開催や同時期開催など、他学会との連携について提議され、継続的審議されることとなった。

6. 国際学会発表奨励賞募集の件 (加藤 (忠) 理事)

2007年度前期の国際学会発表奨励賞につき2件、後期について2件、また学術賞について4件の応募が受理され、審査中であることが報告された。

国際発表奨励賞の在り方について、近年はシンポジウムの企画などが主流になりつつあるので、シンポジウムのオーガナイズを支援するほうがより有用ではないかとの提議があり、国際交流委員会と学術賞検討委員会の合同で検討することとなった。

7. ブレインバンク・ワーキンググループについて (加藤 (忠) 理事)

丹羽理事欠席のため、加藤 (忠) 理事より報告があった。ブレインバンクを設置することの意義について調査するため、「脳と精神の医学」第18巻3号 (2007年10刊行) に同封シアンケート調査が実施された。締め切り日の1月31日現在で129通の回答があり、現在解析中である。

また、第30回年会時に本件に関する企画シンポジウムが予定されていることが報告され、アジ

ア地域の出席者からの理解を深めるためにも英語で発表すべきとの提案があり、準備することとなった。

8. 第30回学会準備状況報告（倉知理事長）

第30回年会について以下の通り報告された。
 会期：2008年9月11日（木）～13日（土）
 会場：富山 ANA ホテルほか（富山）
 会長：倉知 正佳（富山大学医学部精神神経医学）
 なお、2nd WFSBP Asia-Pacific Congress（Organizing Committee, Chair 佐藤光源；Co-chair 倉知正佳. International Scientific Committee, Chair Min-Soo Lee；Co-chair 尾崎紀夫）と合同開催，第51回日本神経化学会総会（武田雅俊会

長）との同時開催となる。

9. 第31回年会について（林監事）

第31回年会について以下の通り報告された。
 会期：2009年4月23日（木）～25日（土）
 会場：京都国際会議場（京都）
 会長：林 拓二（京都大学医学部附属病院精神科）

10. 第32回年会について（倉知理事長）

2010年に開催される第32回年会について検討され，中村純理事（産業医科大学精神医学教室）が推挙され，満場一致で承認された。

以上にて閉会